

# 肌質別スキンケア・プログラム

洗顔料ライン / 化粧水ライン / メイクアップライン / 美容オイルライン



クレーソープ ベーシック マリン ソフト エステ 水精油 水白粉 キララ & ルース ベーシック カレンシア 精油 D1 O2 M3

朝夜	手順	普通肌	脂性肌	乾燥肌	過敏肌	
朝のお手入れ	洗顔	先ず水洗顔、次に丹念にパッティング クレーソープは原則不必要。	先ず水洗顔、次に丹念にパッティング 脂汚れの強い時はクレーソープ使用	先ず水洗顔、次に丹念に水パッティング。 クレーソープは原則不使用。	先ず水洗顔、次に丹念に水パッティング。 クレーソープは原則不使用。	
	化粧水	ソフトローションをパッティング塗布 お肌の状態で「水精油」を併用	ソフトローションをパッティング塗布 お肌の状態で「水精油」を併用	エステローションをパッティング塗布 お肌の状態で「水精油」を併用	エステローションをパッティング塗布 お肌の状態で「水精油」を併用	
	メイクアップ	水白粉をスポンジで毛流に逆らう様にキメ細かく付けます。次にルースパウダーを乗せ、キララでポイントメイク。化粧直しはスポンジに含ませてそのまま重塗り修正します。	角質が厚いのでやや厚塗りします。付け始めは白っぽく見えても皮膚色に馴染むと落ち着きます。次にルースパウダーを乗せ、キララでポイントメイクします。化粧直しはスポンジで重ね塗り修正します。	ノリが悪い時は、下地クリーム代わりにマリンジェルとカレンシアオイルを混ぜて乳液状にし薄くパッティング塗布し、馴染んでから水白粉、ルースパウダーを乗せ、キララでポイントメイクします。	ノリが悪い時は、下地クリーム代わりにマリンジェルとカレンシアオイルを混ぜて乳液状にし薄くパッティング塗布し、馴染んでから水白粉、ルースパウダーを乗せ、キララでポイントメイクします。	
夜のお手入れ	W洗顔	全体にクレーソープで軽く洗い、口紅類は、ベーシックオイルで拭き取ります。	全体にクレーソープで軽く洗い、口紅類は、ベーシックオイルで拭き取ります。	全体にベーシックオイルで拭き取り、その後でクレーソープで濯ぎ洗います。	ベーシックオイル洗顔のみを励行。肌の改善に応じてオイル洗顔後クレーソープも可。	
	化粧水	全体にはソフトローションを、トラブル部にはマリンジェルをパッティング塗布水精油併用推奨。	全体にはソフトローションを、トラブル部にはマリンジェルをパッティング塗布。水精油併用推奨。	全体にソフト又はエステローションを、トラブル部分にはマリンジェルをパッティング塗布。水精油併用推奨。	全体にエステローションを、トラブル部にはマリンジェルをパッティング塗布。水精油推奨。	
	オイルケア	ベース	トラブル部分に適正精油入のカレンシアオイル、ベーシックオイルを局所塗布。	トラブル部分に適正精油入のカレンシアオイル、ベーシックオイルを局所塗布。	トラブル部分に適正精油入のカレンシアオイル、ベーシックオイルを局所塗布。	トラブル部分に適正精油入のカレンシアオイル、ベーシックオイルを局所塗布。
		スペシャル	シミ・乾燥部分にD1オイル、日焼け脂浮きにO2オイル マッサージに精油入ベーシックオイル又は水精油+ベーシックジェル。	シミ・乾燥部分にD1オイル、日焼け脂浮きにO2オイル マッサージに精油入ベーシックオイル、又は、水精油+ベーシックジェル。	シミ・乾燥部分にD1オイル、日焼け脂浮きにO2オイル マッサージに精油入ベーシックオイル、又は、水精油+ベーシックジェル。	シミ・乾燥部分にD1オイル、日焼け脂浮きにO2オイル マッサージに精油入ベーシックオイル、又は水精油+ベーシックジェル。
適性精油・水精油	ゼラニウム・ローズネロリ・ラベンダー等。お好みの精油はカレンシア、ベーシックオイルに、水精油は単独又は化粧水やジェル類に混ぜて使用。	ジュニパー・ティトリ・サイプレス・シダー・ウツドパチューリ・レモングラス・イランイラン等、お好みの精油はカレンシア、ベーシックオイルに、水精油は単独又は化粧水やジェル類に混ぜて使用。	ビャクダン・クラリセージ・ローズネロリ・ゼラニウム・フェンネル・カミツレ・パチュエリ、オリバナム等精油はカレンシア、ベーシックオイルに、水精油は単独又は化粧水やジェル類に混ぜて使用	カミツレ・ゼラニウム・ネロリ・ローズ・ペパーミント・メリッサ等精油はオイル類に、水精油は化粧水・ジェル類に混ぜて使用。 <small>アレルギー要因のある場合はセルフ・パッチテスト※注3をお勧めします</small>		

※1、精油は、カレンシア、ベーシックオイル等に総0.5%以下濃度でご使用下さい。水精油は無希釈で使用できます。

※2、精油適性リストは精油の心理的な個人嗜好性を意味するものです。水精油適性は上記精油に準じます。

※3、精油適正の自己簡易判断；腕の内側に、ベースオイル1ccにテスト精油2~3滴混ぜたものを数日塗布し、皮膚の発赤の有無をみます。発赤が明確な場合使用を控えます。但し、正確な診断は医師によります。